

～ 笑顔いっぱい かがやく湯江っ子のために ～

チャレンジ



島原市立湯江小学校

学校だより No.6

令和7年7月10日（木）

文責：校長 板倉 英史

1学期のしめくりに向けて！

例年にない早さで梅雨が明け、強烈に暑い毎日が続いています。保護者の皆様、地域の皆様には、1学期間にわたり、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、1学期も残すところあと1週間となりました。4月の入学式・始業式から始まり、運動会や授業参観、各種学年行事、日々の学習や生活指導などを通して、子どもたちは大きく成長してきました。1人1人が目標をもち、友だちとともに力を合わせながら、学校生活を充実させている様子が見られます。1学期のまとめの時期として、**学習や生活の振り返りをしっかり行い、自分の成長を実感できるよう支援していきます。**また、心と体の疲れが出やすい時期でもありますので、無理なく健やかに過ごせるよう、引き続き見守ってまいります。

夏休みは、子どもたちにとって、日常とは違った経験をする貴重な期間です。事故や病気に気をつけながら、心に残る思い出をたくさんつくってほしいと思います。

今後とも、本校の教育活動へのご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

水泳の学習がんばっています！

7月に入って、水泳の学習が始まりました。子どもたちは、水泳学習がある日をとても楽しみにしていて、有明プールに移動するバスに張り切って乗り込んでいます。プールに着くと、子どもたちは準備体操から真剣に取り組み、水の感触を楽しみながら、一生懸命に練習に励んでいます。

水泳学習では、安全に気をつけながら「水に慣れること」から始まり、学年に応じて「浮く」「けのびをする」「バタ足」「クロール」などの基本的な泳ぎ方を学んでいます。子どもたちは、自分の泳力に合わせてグループに分かれ、**自分のめあてに向かって練習を頑張っています。**水が苦手だった子どもも、友だちや先生の励ましを受けて、少しずつ自信をつけている様子が見られます。また、指導中は複数の教員で安全確認を行い、体調管理や衛生面にも十分に配慮しています。

ご家庭でも、健康観察や水着の準備等へのご協力、ありがとうございます。今後も安全第一で、水泳を通して子どもたちが自分の力を伸ばしていけるよう、支援していきます。



「自分の心がワクワクする夢をもつこと」(夢の教室)

7月3日(木)、5年生が「夢の教室」を行いました。ラグビー選手の「忽那 健太(くつな けんた)」さんに夢先生として来ていただき、1組が3・4校時、2組が5・6校時の2時間続きで実施しました。まず、前半は体育館でゲームの時間です。最初は緊張していた子どもたちですが、夢先生(健ちゃん)と協力してさまざまなゲームをしていく中で緊張もほぐれ、笑顔がたくさん見られました。ゲームを通して「一致団結」、仲間と協力することの大切さを感じました。

後半はそれぞれの教室に戻ってトークの時間です。夢先生(健ちゃん)が自分の夢に挑戦してきたこれまでの経験を、「心」をキーワードに話してくださいました。「諦めない心」「前向きな心」「全てを楽しむ心」をもち、夢に向かってチャレンジすることを頑張ってほしい。チャレンジ(挑戦)の後には、「成功か失敗か」があるのではなく、「成功か成長がある」という言葉が強く心に残りました。子どもたちも真剣に聞き入っていて、発表の場面では、自分の夢をしっかりと発表することができました。夢をもつことのすばらしさや夢に向かって努力することの大切さを学びました。



平和学習に取り組んでいます！

7月に入って各学級で平和学習に取り組んでいます。事前に、童話の会「くすのき」の方が戦争や原爆に関する話をしてくださった様子を録画し、その動画を各学級で視聴します。その後、1人1人感想を書いて伝え合う活動を行っています。



8月9日の登校日には、全校で平和集会を行い、4年生が長崎での社会科見学をもとに学習したことを発表する予定です。一連の平和学習を通して、戦争の悲惨さや平和の大切さについて理解し、考えを深める機会にしたいと考えています。